# ニッポン美人化計画

Text: Ryoko Kobayashi

MAKE-UP: UDA

MISSION 77

2016.10

PHOTO: Shunya Arai (yard)
STYLING: Itsumi Takashina
HAIR: KANADA (lake tajo)

UDAメイクの信条は、色っぽさ。今回は、強く揺るぎないマインドに合わせたしっとり大人のメイクです。

コート¥115,000(バレーナ 「トゥモローランド」/ピアス※スタイリスト私物



## 今月のミューズが生まれるまで

**小池樹里杏さん**
**脚本家／演出家／女優**
2016. 8. 11 at Shirokanedai
Photo: UDA

執筆や本屋に立ち寄るときはすっぴんメガネに蝶ネクタイ、女友達に会うときは赤リップにフェミニンな出立ち、普段から、シチュエーションに合わせてまったく違ったファッションを楽しむという小池さん。

「22歳で、脚本家であり、舞台を手がける演出家。ありのままの自分を臆せずに表現できる、潔くカッコ良い人です。実年齢より大人びたそのマインドに合わせたメイクを考えました」(UDAさん)

もともとのしっかりした眉をさらにきゅっと立たせ、目元はカーキやピンクのグラデーションをつくったうえで、キリッとアイラインを。リップにはグロスを塗り、エキセントリックな色っぽさを出した。

「最近、メイクに色気は永遠のテーマだとあらためて思います。今回は、クラシックにならない大人の女性のしっとりした色気がイメージでしたが、色気の出し方はたくさんあるので、そのときどきで探ってみては」(UDAさん)

マスカラと眉は、小池さんのメイクを残し、ベースメイクを拭きとってスタート。目の下の影は、ペンシルタイプのコンシーラーでカバーし、小さなブラシを使ってクリームファンデを重ねる。アイカラー(3)は、ブラウン・カーキ・ピンクの3色を使用。上瞼のアイホール全体にブラウンをぼかし、目の際にカーキを重ねる。下瞼にはライン状にピンクを。目の上の際はグリーンのアイライン(2)を引き、さらに黒のリキッドライナーで細いラインを引く。睫毛には、黒のマスカラを重ねる。眉は、グレーのペンシルタイプ(1)を使い、形をストレートにとりながら、元の眉を強調するように描き足す。唇には、落ち着いたクリアなブラウンのグロス。ネイルは、小池さんが選んだディープレッド(4)を。

4

3

2

1

**1:** 毛を1本ずつ描ける極細ペン。ウォータープルーフ アイブロウ ライナー #01 ¥2,500(ボール & ジョー ボーテ)
**2:** 鮮やかなグリーン。メズモライジング パフォーマンス アイライナーペンシル #03 ¥3,000 ＊限定発売中(THREE)
**3:** 1970年代のコレクションを彷彿とさせるアイカラーパレット。パレット スキャンダラスレトロ ¥7,900 ＊限定発売中(イヴ・サンローラン・ボーテ)
**4:** つややかで深みのあるモダンな赤。ネイル カラー R #EX-17 ¥2,500 ＊限定発売中(SUQQU)

### UDA

メイクアップアーティスト。雑誌・広告のファッション&ビューティ、女優やアーティストを担当するほか、舞台のメイクプランニングも手がける。本企画ではモデルハントからディレクションまで全体を統括。緻密な理論に基づく技は日々進化中。



**美人化モデル募集中** 「ニッポン美人化計画」では、街でのハントに加え、ページに登場してくれるモデルさんを募集しています! 自薦・他薦は問いません。UDAさんのメイクアップで、新しい自分を発見してみませんか? 受け付けはFacebookから。https://ja-jp.facebook.com/mhginza